

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会
平成 22 年度 第 11 回常任理事会 議事録

- 1.開催日時 平成 23 年 1 月 27 日 午後 6:30～午後 8:30
- 2.開催場所 日本大学経済学部 7 号館 1 3 階会議室
- 3.理事総数 10 名
- 4.出席者数 3 名（書面表決書 3 名）
出席者（佐藤文宏、山西哲郎、保原幸夫 敬称略）
書面表決書（宇佐美彰朗、岡田英孝、田村裕司 敬称略）
オブザーバー（藤田豊氏、岩山海渡氏）
- 5.議長選任 議長として佐藤文宏氏が選出された。

6.議事の経過の概要および議決の結果

第 1 号議案 前回常任理事会（12 月 20 日開催分）議事録に関する件（報告）
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったため承認されたものとする旨報告があった。

第 2 号議案 議事録署名人の指名について（報告）
議事録署名人として山西哲郎氏と保原幸夫氏が選出された。

第 3 号議案 藤田豊氏（オブリガード・サッカースクール代表）の活動紹介
藤田氏の活動についてお話を伺ったが、J S I E の運営にとってもヒントになる点が多く、大変参考になった。相互協力等については、今後話し合うことにした。

【概要】

- ・藤田氏は高校卒業後、鹿島アントラーズ、ザスパ草津で J リーガーとして活躍し、引退後は保険外交員を経て、オブリガード・サッカースクールを設立して活動している。
- ・現在、大田区を中心に都内 10 箇所でシニア世代（70～92 歳）40 名、幼児（3～12 歳）160 名、合計で約 200 名を教えている。
- ・スタート当初、20,000 枚のチラシを配布したが、応募者は 1 名だけだったので無料で個人コーチをし、その後お台場の小学校の P T A にお願いして 2,000 円／人を支払ってデモスクールをスタートさせたところ、口コミで人数が増えた。
- ・上手な人ではなくて下手な人を主な対象としていて、プログラムの特徴は“サッカーボールを使わない、他にない練習方法”で、DVD を作成したところ NHK にも取り上げられ、インターネットを通じて 1,000 人以上の方が購入してくれた。
- ・その中に、自治体の職員がいて、ボールを使って脳活性化をする運動機能改善プログラムとして板橋区、目黒区などのシルバーセンターでも教えるようになった。
- ・運営資金の確保、スタッフの確保の両面から、毎年 10 人の学生採用を条件に日本工学院大学とスポンサー契約を締結し、在学中のインターンシップを経て採用している。現場での指導はほとんどこのスタッフで行い、藤田氏はスクールの運営管理とスタッフの研修に力を注いでいる。

- ・海外活動としては、現在インドネシアが中心である。きっかけは現役時代のインドネシア自主トレ中にお金ではなくサッカーボールが盗まれたこと。インドネシアではサッカーが人気スポーツであるにもかかわらず、貧困のためボールが入手できない子どもたちが沢山いる。この子たちに何かをしてやりたいとの思いから、ボールとか古着とかを寄付する活動を始めた。年に何回か、希望者を募って移動サッカースクールを開催しているが、自費参加でのスタッフ募集したところ、定員を超す応募があり、人選して連れて行っている。
- ・また、このような活動をするための活動費を捻出する目的で始めた“個サル”ビジネスが人気で収益が上げられるようになってきている。“個サル”とは個人参加型のフットサルのことで、インドネシアのホテル宿泊客を対象に、フットサル場への送迎付きのフットサルプレイ料金として2時間あたり\$65ドルをもらっているが、予想以上の人気で、収益事業となっている。
- ・事業拡大にあたっての社会的信頼と場所の確保が課題となっており、JSIEとの相互協力関係を築くことによって課題解決が図れないかと考えている。

第4号議案 「2011メルボルンマラソン日本事務局」契約について（報告・審議）

保原氏より契約内容について報告があり、契約締結について承認された。

【契約内容の概要】（添付資料参照）

- ・JSIEの活動内容についてはほぼ昨年同様だが、東京マラソンとの提携可能性検討の項目が追加された。
- ・IMGが提供するサービスについてもほぼ昨年同様である。
- ・IMGからの支援金については、昨年度は全ての活動支援として6,000ドルだったが、本年度は6000ドルは事務所経費とし、その他マーケティング活動資金として最大10,000ドルまでの支援をしてくれることになった。マーケティング活動資金としては、パンフレット代金、HP改訂費用、ツアー補助、その他活動が含まれ、活動毎申請し承認を受けなければならない。したがって、今後は以前IMGに提出した活動計画を具体化して予算承認を受ける必要がある。
- ・参加者が50人、100人を超えた場合の追加補助金については昨年同様である。

第5号議案 「2011市民ランナー交流セミナー」について（報告・審議）

当日の進行表および役割分担については役割分担表にしたがって行うことになった。

■ 駅伝大会

- ・参加申し込みは最終的に97チームである。
- ・駅伝の運営については、受付～閉会式まで基本的にエアラン東京が手配した東京陸協およびボランティア団体のスタッフで実施する。
- ・JSIEとしては参加賞を含めた配布物の準備を前日に日大経済学部7号館で行い、当日会場まで運搬する。作業については、日大学生および立正大学生に手伝ってもらう。したがって、配布物の送付先は7号館防災センターとする。
- ・開会式では山西氏に趣旨説明、岩山氏に準備運動の指導をしていただく。また、閉会式では山西氏に講評および午後のセミナーへの勧誘をしていただく。

■セミナー

- ・会場準備は前日および当日に日大学生に手伝ってもらって実施する。
- ・受付は日大学生に担当してもらう。
- ・帖佐先生との昼の会食およびセミナー後の懇親会の会場は近隣の店を予約する。
- ・セミナー会場は2階ホールと4階教室を準備しておき、当日の参加人数によって決定する。

第6号議案 その他

■年会費の督促について

保原氏より、「市民ランナー交流セミナー」チラシを同封して、督促の手紙を送付した旨報告があった。

■次回常任理事会について

今回の常任理事会は、役員選任、来年度計画を含めたJSIEの今後の活動といった重要議題を審議する必要があるため、あらためて全理事の都合を確認して決定することにした。

以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後8時30分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

平成23年1月27日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長

佐藤文宏



議事録署名人

小西 拓印



議事録署名人

保原 幸夫

